

塩竈市観光振興ビジョン(概要版) 発行日:平成30年3月 発 行:塩竈市 編 集: 産業環境部観光交流課 電話:022-364-1165 FAX:022-364-1169 E-mail:kankou@city.shiogama.miyagi.jp



塩竈市観光振興ビジョン

目的

観光振興ビジョンは、観光によって塩竈市にもたらされる経済効果を再認識するとともに、これまでの観光資源を磨き上げ、再評価し、市民、事業者、地域、行政が一体となって観光振興を促進していくための基本方針と行動計画を示す ことを目的としています。

本ビジョンでは、鹽竈神社や門前町、市場や浦戸諸島などの観光スポット、三陸塩竈ひがしものや藻塩に代表される 塩竈ならではの海産物・お土産品などの観光資源を組み合わせ『アクションプラン』として設定しました。今後の市の観 光振興を具体的な取り組みとして共有し、市一丸となって、観光を生産性の高い産業へと育て上げていきます。

期間

期間設定は、2018(平成30)年度を開始年度とし、次期塩竈市長期総合計画(第6次)の前期期間となる2025年度を 終了年度とする8年間とします。第5次塩竈市長期総合計画が終了する2020年度に合わせ数値目標を設定し、達成状 況を検証しながら、観光振興ビジョンの推進に取り組んでまいります。



2 塩竈市の観光の現状と課題

現状の整理

- ・ 塩竈市を2017 (平成29) 年に訪れた観光客は、219万人と推計されます。
- ・ 塩竈市を訪れた観光客は、鹽竈神社と遊覧船乗降人員の合計 でみると、2010 (平成22)年の140万人から、2017 (平成 29)年の131万人へと推移し、7年間で9万人減少と微減傾向 にあります。
- ・施設別に観光客数をみると、2017(平成29)年では、鹽竈神 社の参拝客1,062,400人と、マリンゲート塩釜の入場者数 869,300人で観光客数の約88%を占めています。
- マリンゲート塩釜の月別状況を見ると、7月が12.1%と最も多く、次いで8月が10.1%、10月が10.0%とやや平準化しているなど、全体としてピークがないことがわかります。
- ・宿泊者数は2017 (平成29) 年で53,423人と観光入込客と比 ベ少なく、月別利用状況も平準化していることから、ビジネス 利用者が多く、観光客の利用者は少ないと予想されます。
- ・ 塩釜水産物仲卸市場では2010 (平成22) 年にマイ海鮮丼を 開始して以降、2017 (平成29) 年には利用者数を72,698人 集めることに成功しました。
- ・ 塩竈みなと祭の100,000人、ゆめ博の112,106人など、イベントで集客を図っています。

課題

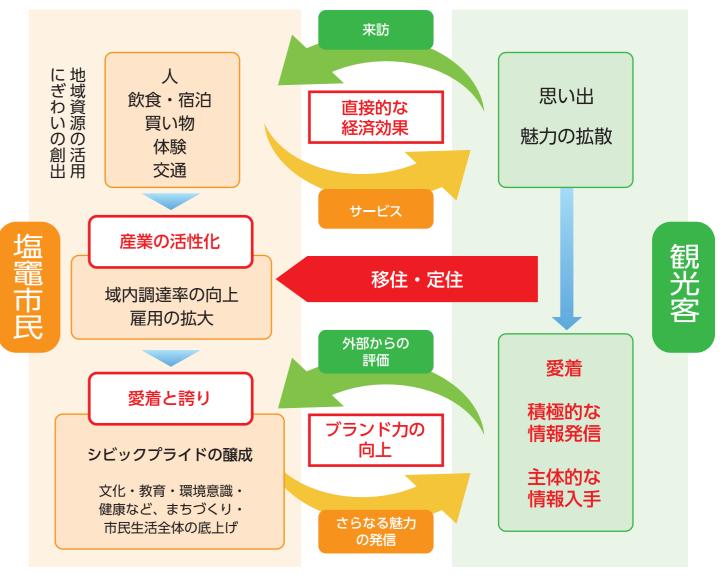
- ・ 塩竈市の観光客の約半数が県内、残り 半数が県外からの訪問となっており、 仙台からの日帰り客や東京・千葉・神 奈川・埼玉からの宿泊客など、様々な スタイルの旅行者が混在しています。
- ・ 仙台市を中心とした近隣からの観光 客は塩竈市内での周遊地点数が少なく、鹽竈神社や塩釜水産物仲卸市場などの主要拠点を訪問した後、仙台港の アウトレットなどで買い物をして帰るといった行動がみられます。
- ・東京など遠方からの観光客は、仙台に 宿泊し、塩竈→松島方面を1日で回る パターンや、塩竈を経由して松島に宿 泊するパターンがみられます。
- 1人あたりの消費額は5,000円を下回っています。宿泊費が少ないことに加え、近隣からの日帰り客の消費が少ないことが、全体平均を下げています。

観光消費額

- ・ 年間の市内観光消費額は総額73.9億円です。内訳は、宿泊費8.8億円(11.9%)、交通費2.4億円(3.2%)、入場料 など 15.4億円(20.9%)、飲食20.8億円(28.2%)、お土産26.1億円(35.3%)、その他0.4億円(0.5%)です。
- ・そのうち寿司、海鮮丼、水産物、水産加工品で35.3億円(47.8%)を占めています。
- ・ 観光消費額73.9億円は、塩竈市の市内総生産 1,609億円(2014(平成26)年度)の4.6%に相当します。

3 観光のもたらす効果

塩竈市の観光を振興することにより、国内外の来訪者が増加し、まちに活気とにぎわいが創出され、多様な地域資源を活用することにより、観光消費が増大し、経済的な効果がもたらされます。





新緑の鹽竈神社

国泊費8.8億円(11.9%)、交通費2.4億円(3.2%)、入場料 産26.1億円(35.3%)、その他0.4億円(0.5%)です。 47.8%)を占めています。 円(2014(平成26)年度)の4.6%に相当します。



浦戸諸島・朴島の「菜の花畑」

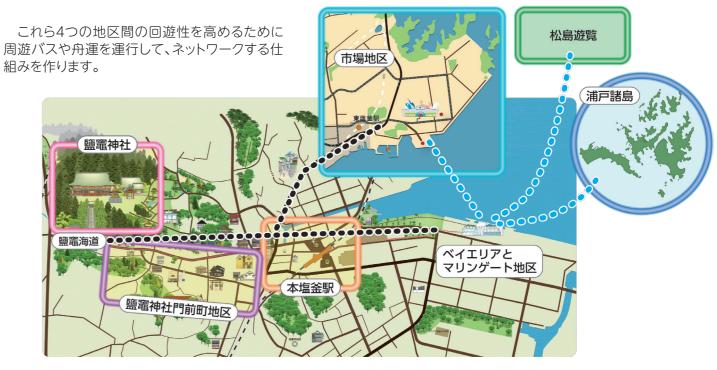
観光振興の基本方針と基本施策

塩竈市の多様な主体が協働で観光振興に取り組み、持続可能なまちづくりを推進していくため、塩竈市の『これまでの千 年』の歴史を大切にしながら、『これからの千年』をつくっていくことを軸としてコンセプトを設定しました。また、コンセプト を元に観光振興の基本方針を整理し、観光メニューづくり、情報発信・集客・誘客、人材育成・体制づくりなどの基本施策を 展開していきます。



4つの観光拠点とネットワークづくり

塩竈市内の観光地について、「鹽竈神社と門前町地区」を塩竈市観光の顔となる観光 拠点と位置づけ、「ベイエリアとマリンゲート地区」、「市場地区」、「浦戸諸島」を合わせて、 塩竈市の観光振興の軸となる4つの観光拠点とします。



鹽竈神社と門前町地区

・ 塩竈市のシンボルである鹽竈神社を中心に、塩竈市 の観光の顔となる拠点を「鹽竈神社と門前町」と位置 づけ、導入部(JR本塩釜駅)、門前町、鹽竈神社と続く 観光ストーリーを明確化

・『鹽竈神社と門前町 地区」としてブラン ディングを進め、一体 感のある取り組みを 推進



市場地区

- ・仲卸市場のマイ海鮮丼、魚市場のテラスなどのコン テンツを活用し、食のまち塩竈を広く発信
- ・「おくのほそ道風景地」や日本遺産「政宗が育んだ"伊 達"な文化」に認定された籬ヶ島などを活用し、古か

ら現代までの塩竈の 港を体感できるエリ アを回遊できる仕組 みを作る



塩釜水産物仲卸市場の「マイ海鮮丼」

-3-

ベイエリアとマリンゲート地区

- マリンゲート塩釜を千賀の浦のシンボルとして、ベイ エリアと共に集客力のある施設に
- ・ 大型バスの団体客を受け入れることのできる収容人 数の多い飲食スペースの確保など、松島観光客の昼 食需要を取り込む



浦戸諸島

- ・マリンスポーツ、島歩き、小型船による観光遊覧な ど、島ならではのコンテンツで誘客
- ・ 島のよさや島のくらしを丸ごと体験してもらう滞在・ 体験型の体験で、首都圏などの都会の富裕層やイン バウンド観光客への 誘客を推進



夏の浦戸諸島



4つの観光拠点を軸に、塩竈市の観光振興を具体的に推進してゆき、各観光拠点の魅力を引き出し、集客力を高めるアク ションプラン(行動計画)です。

鹽竈神社と門前町地区

鹽竈神社の門前町として、体験、食事、買い物など、さまざま な活動を楽しめるにぎわいのまちづくり

①門前町のブランディング(風情づくり) ②娯楽性のある門前まちあるきガイドの育成 ③門前町のイベント開催・門前町の新商品・サービスの開発 ④観光案内所のインバウンド対応とまちなか観光案内の充実 ⑤日本遺産「政宗が育んだ"伊達"な文化」の魅力発信

市場地区

新鮮な水産物を食べて、買って、 体験できる場づくり

①魚市場テラスの一般開放と利活用 ②塩釜水産物仲卸市場における市場食堂(横丁)の整備 ③塩釜水産物仲卸市場のキッチンスタジオを活用した 体験プログラムの充実 ④魚市場の展示スペースの活用

ベイエリアとマリンゲート地区

観光客が海に触れて、水産物を買ったり、 食事を楽しんだりする場づくり

①みなとオアシスとしての機能強化 ②マリンゲート塩釜と魚市場を結ぶ二次交通の運行 ③マリンゲート3階空きスペースの活用検討 ④マリンゲート1階空きスペースの活用検討

浦戸諸島

浦戸諸島の島時間・島のくらしを 体験できるコンテンツ整備

①遊休施設を活用した交流施設づくり ②地元の事業推進組織づくり ③教育旅行の誘致



アクションプランの実施と目標の評価のため、PDCAサイクルを取り入れ、以下のように取り組みます。

	概要	実施項目		
(1) 観光振興ビジョン 推進の評価	観光振興ビジョン推進の進捗状況 について、アクションプランの実施 時や、第5次長期総合計画の総括 及び第6次塩竈市長期総合計画策 定時などにおいて、外部有識者や アクションプランの実施関係者など による定期的な確認と評価を実施 します。	 各アクションプランの効果測定と 評価 前年度事業の実施状況評価 		
(2) 各種調査の実施	観光客動態調査や観光客アンケート 調査の定期的な実施や、事業実施時 などに合わせて各種調査を行い、目 標値の達成度を確認します。	 ・ 観光客動態調査 ・ 観光客アンケート調査 ・ 塩竈ブランドの認知度調査など ・ 仙台・松島復興観光拠点都市圏D MOが実施する広域(6市3町)調 査データの利活用 ・ 各事業実施による満足度調査など 		



市内の酒蔵を説明する「蔵ガイド」



島々を巡る観光遊覧船



浦戸の漁師が使う小型の船 「だんべっこ船」で、観光船では 見ることができない浦戸の裏側を見学

観光振興ビジョンの主な目標設定 7

塩竈市観光振興ビジョンの主な達成目標です。

現在の第5次塩竈市長期総合計画は2020年度までを示していることから、観光振興ビジョンの中間検証を行う2020年を目標 値の設定としました。

分野	項目	目標値 2020 年	基準値 2017(H29)年	(単位)	評価方法
集客	観光客入込数	243	219	(万人)	市内各観光地点へ照会
消費	観光消費額(日帰り単価)	4,100	3,920	(円)	観光客アンケート調査 から試算
	観光消費額(市外宿泊単価)	4,600	4,346	(円)	
	観光消費額(市内宿泊単価)	11,900	11,405	(円)	



門前町の歴史的な建物



浦戸諸島・初夏の野々島「ラベンダー畑」



鹽竈神社の「鹽竈桜」



浦戸諸島[桂島海水浴場]